

日本における日系南米人の30年 ～生活相談窓口からの定点観測とこれから～

話題提供：村松紀子さん（自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、愛知県立大学外国語学部非常勤講師）

日時：2024年3月22日（金） 18:30～20:00

開催方法：対面（先着10名）＆オンライン

会場：名古屋市立大学看護学部302演習室

（名古屋市営地下鉄桜山駅下車徒歩1分）

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/access/sakurayama/>

参加費：BiPH会員500円、非会員500円または1000円



お申し込みはこちらから

<https://biph.jp/study/1784/>

村松さんのプロフィール

兵庫県出身。スペイン語通訳相談員、社会福祉士。1988年から3年間、青年海外協力隊野菜隊員としてパラグアイ、ドイツ人移住地農業協同組合で活動。複言語・複文化の移住地の居心地の良さ、豊かさを学ぶ。帰国後、（公財）兵庫県国際交流協会で30年間スペイン語の通訳相談員として、日系人のライフステージが変わるたびに自分の専門を変化させてきた。2002年から医療通訳研究会（MEDINT）代表。現在はJICA関西国際協力推進員（多文化共生）。愛知県立大学外国語学部非常勤講師。



村松さんからのメッセージ

1990年の入管法改正で、南米に移住した日本人、2世、3世とその家族が出稼ぎとして来日するようになって30年が過ぎました。働き盛りで来日した方も、高齢化を迎え始めています。日系人の来日の経緯とその後のライフステージに伴う課題の変化、日本社会の外国人受け入れとこれらについて考えます。また、同時並行して、医療通訳者として、医療現場を見てきた経験から、「病気になっても母語で安心して病院にいける日本社会」を目指した20年についても振り返ります。

【お問い合わせ】

一般社団法人Bridges in Public Health事務局

〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1丁目22-2

TEL：052-846-5878

Mail: adm.officel4@biph.jp

URL: <https://biph.jp/>

FB: www.facebook.com/biph.adm

